

IBM System z ソフトウェア・ツール&ソリューション

企業の競争力強化をサポートするメインフレーム・ソフトウェア



ビジネスの変化を柔軟にサポートする 先進テクノロジー

常に変化し続ける今日のビジネス環境において企業競争力を維持するためには、変化のスピードに対応し続けることが重要です。そのためビジネスを支えるITインフラストラクチャーは、信頼性が高く拡張性に優れているだけでなく、柔軟な運用が可能であること、高度なセキュリティが維持できること、そしてコストを抑えることが求められます。多くの企業が抱えるこのITインフラストラクチャーの困難な課題は、System z[®]サーバーおよびソフトウェアによって解決することができます。

IBM[®] System zソフトウェアは、常に先進のテクノロジーでお客様のビジネスをサポートし、強力でエンド・ツー・エンドに連携するソリューションをもたらします。

また、ワークロードを緩和し、貴重なITリソースの有効活用を促進するため、IBMではオートノミック・コンピューティングのテクノロジー開発にも積極的に投資しています。日常的な業務を効率的に処理するIBMソフトウェア・ツールを活用することで、お客様はビジネスの成長に、より一層集中していただけます。

System z の真価を最大限に引き出す ソフトウェア・ツール

高性能なサーバーは、優れたソフトウェアがあって、初めてその真価を発揮します。System zサーバーは多くのソフトウェア・ツールにより、従来のサーバーとしての卓越した機能を保ちつつ、統合化、仮想化、自律化、SOAなどを実現する理想的なオペレーティング環境を提供しています。IBMではSystem zサーバーおよびz/OS[®]に対する機能拡張はもちろん、主要ミドルウェアをはじめとしてSystem zの多くのツール群でもソフトウェア開発を継続しています。

System zソフトウェアと最先端のツールは、データベース管理、システム管理、アプリケーション開発および運用、トランザクション処理に対するお客様のさまざまなニーズに対応しています。インフォメーション・オンデマンド実現のためデータを集約化して傾向分析や予測情報を提供したり、システムの統合インフラストラクチャーを提供することでシステムの最適化を実現し、システム管理者の負担を大幅に軽減します。高い可用性を求められる基幹業務処理においてはハイ・ボリュームなトランザクションを的確に管理し、お客様の求めるサービス・レベルを1日24時間/週7日間維持することを可能にしています。

既存の投資を最大限に活用しつつ 将来を見据えるIT環境の実現

IBMでは、お客様がこれまで行ってきた投資を最大限に活用し、将来の課題に備えることができるよう、System zサーバーおよびソフトウェアに対する取り組みを拡大しています。

SOA ReadyなSystem zソフトウェア・ツールでは、メインフレーム環境のアプリケーションはもちろん、分散環境におけるアプリケーションも集約できる仮想化サーバーを実現します。既存のアプリケーションをWebテクノロジーでの活用を可能にするので、お客様のビジネスの迅速な成長を促します。

多くの企業にとって重要な課題となっているのは、既存の基幹アプリケーションのサービス・レベルを損なうことなく、更新・維持し続けなければならないということです。特にメインフレーム環境におけるアプリケーション開発には、スキルの継承や人材不足が問題になっていますが、System zソフトウェア・ツールにはEclipseベースの最新開発ツールや開発プロセスにおける資産の蓄積と管理など、最新のWebアプリケーション開発などで慣れ親しんだものと同じスキルで利用できるツールが提供されています。



複雑化するIT環境に対応して お客様の適応力を向上

ミッション・クリティカルな環境において業務を遂行するには、強固でシンプルなハードウェアとソフトウェアを整合性を持たせて統合する必要があります。メインフレームは、21世紀の企業にとっても不可欠な存在であるといえるでしょう。無秩序に氾濫してしまったサーバー、増大する一方の管理コストやエネルギー・コスト、潜在的なセキュリティ違反など複雑化したITの課題解決に悩む企業が多い昨今、改めてメインフレームの価値が見直されています。

より効率的に業務を推進し、生産性を向上するためにIBM基幹ソフトウェアとの統合ツールやソリューションは、IBMにお任せください。IBMは、お客様の業務に必要な、データ管理、システム管理、トランザクション処理、アプリケーション開発および運用の価値をますます高めるソフトウェア・ツール群を取りそろえ、ソリューションを提供しています。さまざまな局面でお客様の業務をサポートするソフトウェア製品開発を今後も継続していきます。



データベース管理ツール Information Management

データベースは、情報戦略活動を推進していく上で、中心的な役割を果たすために、最高レベルの能力を発揮する必要があります。その要求に応え、IBM DB2® for z/OS、IBM IMSのパフォーマンス向上のため、DB2 ToolsとIMS Toolsは開発されました。

これらのDB2、IMS用のデータベース管理ツール製品群は以下の4種のカテゴリーに分類されます。

■アドミニストレーション

DB2 Administration Tool、IMS Database Control SuiteやOptim™などにより、データベース管理タスクを効率化し、システムの可用性を改善します。

■パフォーマンス管理

IBM Tivoli® OMEGAMON® XE for DB2 Performance ExpertやIMS Performance Analyzerなどのツールを使用して、厳しい要求下でもピーク運用レベルを向上させます。

■リカバリーとレプリケーション

DB2 Change Accumulation Toolを使って可用性を犠牲にすることなくバックアップ要件に対応。また、WebSphere® Replication Server for z/OSやInfoSphere™ Classic Replication Server for z/OSなどにより複雑なレプリケーションの課題にも対応します。

■ビジネス・アプリケーション管理

DataQuant for z/OSやIMS Connectを利用して、お客様の持つ情報への迅速なグローバル・アクセスを支援します。また、Cognos® 8 Business Intelligenceで素早くビジネス情報をお手元にお届けできます。

相互のインターフェースを利用し一元化された管理ツールは、お客様のデータベース環境をより容易に管理しやすくします。データや機能を共有するように設計されているため、お客様の要求に合った、最適のソリューションを選択できます。また、IBMはデータベース製品とツール製品群を共に開発していますので、データベースの新バージョンのソフトウェアを出荷開始するときには、新しいデータベースの新機能を生かしたデータベース管理ツールの機能拡張も同時にサポートすることができます。

DB2ソリューションは複数のプラットフォーム上に拡張、稼働できるように、IBM AIX®、Linux、Linux on System z、Microsoft® Windows®などのプラットフォーム用に追加ツールを用意しています。IBMは、これらすべてのプラットフォームで共通のインターフェースを採用し、最新テクノロジーを用いた自己管理、自己調整機能をサポートすることで、操作性を改善しています。お客様は、このデータ管理ツールによりDB2、IMS環境から最大限の価値を引き出すことができるので、その品質、信頼性、価格にご満足いただけるものと、確信しています。

管理の業務軽減と費用削減を実現する システム管理ツール

オンデマンド・ビジネス環境の複雑さを統合的に管理するために生まれたIBM Tivoliソフトウェアは、従来のネットワークとシステム管理の境界線をデータセンターからインターネットへと拡張することができます。そして、「可視化」「コントロール」「オートメーション」と3つのITビジネス目標を達成することが出来ます。

Tivoliソフトウェアは、IBMサービス・マネジメントのコンセプトに基づき、ネットワーク、システム、データベース、アプリケーションを管理する上での問題を軽減し、ビジネスを活性化するとともに、お客様の管理費用を削減します。例えば、さまざまなITイベントが重要な業務の可用性にどんな影響を与えるかを、分析するために役に立ちます。運用、セキュリティ、業務への影響度の管理、イベントの相関関係と自動化、そしてネットワークとシステム、アプリケーションの監視などに対処するTivoliシステム管理ツールには、次の製品群があります。

■自動化/監視ソリューション

●Tivoli NetView® for z/OS

ネットワーク、システム、アプリケーションの監視および自動化によるシステム統合管理を実現します。

●IBM Tivoli System Automation for z/OS

運用のベスト・プラクティスを集積した、ポリシー・ベースの統合自動化ソリューションです。z/OS、DB2、IMS、CICS、WebSphere Application Server、Tivoli Workload Schedulerといった主要ミドルウェアの資源管理用自動化テンプレートを提供します。

●IBM Tivoli Workload Scheduler for z/OS

z/OSからの、UNIX、Windowsなどのサーバーを含むエンド・ツー・エンドのバッチ・ジョブ運用の自動管理機能と強固な障害回復機能を提供します。NetView for z/OS、System Automation for z/OSとの統合自動化のための連携機能も利用できます。

■パフォーマンス管理ソリューション

●IBM Tivoli Decision Support for z/OS

z/OS、およびz/OSミドルウェア、UNIX、Windowsなどのパフォーマンス・データの統合バッチ・レポート機能を提供します。運用報告書、傾向分析によるキャパシティー・プランニング、課金管理に利用できます。

●IBM Tivoli OMEGAMON Series

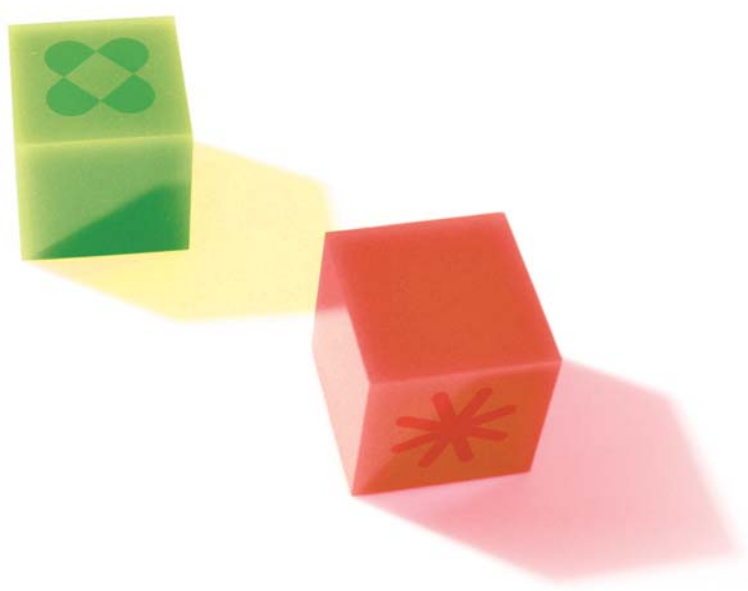
OSやミドルウェアの個別のパフォーマンスをリアルタイムで監視できます。z/OS、IMS、DB2、CICS®、Storage、MQ、ネットワークz/VM®の各対応製品が用意されており、それぞれのコンポーネントのオンライン・モニター、データ解析、レポート機能を提供します。WebSphere Application Serverのパフォーマンスを監視するIBM Tivoli Composite Application Manager for WebSphereも、同じシリーズ製品になります。

■セキュリティ管理ソリューション

●IBM Tivoli zSecure Suites

RACF®によるセキュリティの定義、運用、監査、監視を強力に支援し、お客様のセキュリティ管理の強化を実現するシリーズ製品です。

これらの製品はIBM Service Management Center for System z (SMCz)を構成する一部となります。



IBM Service Management Center for System z とは System z クライアントのためのサービス管理とベスト・プラクティス・モデル

System zからエンタープライズ全体を管理
System zを企業全体の管理のための戦略プラットフォームへ

サービス管理とビジネス・デリバリー・プロセスのシームレスで密接な統合
複雑さとコストを軽減し効率的な環境に

グリーンやクラウド環境への変化のためのロードマップ
コスト削減や柔軟性、効率性の実現



SMCzは、ビジネスに欠くことのできないITサービスの可用性を高めるとともにその安定性を向上するように設計されたIBM Service Managementに基づく手法と統一された製品スイートです。SMCzによりIT担当者の生産性向上、エンド・ユーザーの満足度向上、ITの運用とビジネス目標を同期させ企業内ITインフラストラクチャー・ライブラリー (ITIL) プロセスを連携させ、サポートします。SMCzポर्टフォリオにはさらにSystem zストレージ管理ソフトウェアやサーバー統合を支援するVM、Linux on Sysem z上の仮想化、自動化ツールがあります。これら包括的な管理ソリューションを利用することによりIT運用におけるコスト削減や効率化の効果を高めることができます。

開発環境刷新ツール

企業の重要なビジネス資産である基幹システムは、今もメインフレーム上に存在しています。膨大なCOBOLコードが存在し、新規に数億行のCOBOLコードが開発され続け、大部分の重要なデータは、z/OSのメインフレーム上に管理されています。

これらの膨大なシステム資産とそれを支えるスキルを有効活用しながら、新しいビジネス環境の変化に迅速に対応させていくためには、一貫したソリューションが必要です。このソリューションを、エンタープライズ・モダナイゼーションと呼び、それを実現するための製品群を提供しています。これらは、次の5つの視点に集約されています。

■システム資産

●既存アプリケーションの棚卸と可視化

- ・ WebSphere Studio Asset Analyzer
- ・ Rational® Asset Analyzer

●再利用のための既存アプリケーションの理解と再構成

- ・ Rational Transformation Workbench

●開発プロセスにおける資産の蓄積と管理

- ・ Rational Asset Manager

■アプリケーション・アーキテクチャー

●3270及び5250アプリケーションのWebサービス化

- ・ Rational Host Access Transformation Services

●既存のCOBOL、PL/I、Java™アプリケーションからのWebサービス生成

- ・ Rational Developer for System z, with Service flow modeler (SFM)

●開発プロセスにおける資産の蓄積と管理

- ・ Rational Asset Manager

■プロセスとシステム基盤

●企業全体のシステム資産管理のための共通リポジトリ

- ・ Rational ClearCase®

●問題管理と構成管理の自動化と組織化

- ・ Rational ClearQuest®

●クロスプラットフォームにおけるコンパイル・リンクの自動化とトレーサビリティ

- ・ Rational Build Forge®

■スキル

●IBMのEclipseプラットフォームによる最新開発ツール

- ・ Rational Business Developer
- ・ Rational Developer for System z

●アプリケーション運用支援・問題判別ツール

- ・ File Manager
- ・ Debug Tool
- ・ Fault Analyzer
- ・ Application Performance Analyzer

■投資

●3270及び5250アプリケーションの迅速なGUI化

- ・ Rational Host Access Transformation Services

トランザクション管理ツール

CICSを利用した多種多様のアプリケーションは、1日24時間/週7日間、数千もの対話式ユーザーと、毎日週百万に及ぶ大規模なトランザクションを処理しています。IBM CICSツールは、CICS Transaction Serverシステムにおいて、お客様が求められる高パフォーマンスと可用性を維持します。

IBM CICSツールは、リソース利用率の向上、CICSシステムの機能性と効率の改善を支援するように設計されています。

■パフォーマンスの管理と監視

- ・ CICS Performance Analyzer
- ・ Tivoli OMEGAMON XE for CICS on z/OS

■業務アプリケーション間の関連/影響分析とVSAMエラー・リカバリーの提供

- ・ IBM CICS Interdependency Analyzer
- ・ CICS VSAM Recovery

■オンライン資源定義の一元管理

- ・ CICS Configuration Manager

■アプリケーション間の接続改善

- ・ IBM Session Manager

これらのCICSツールは、お客様のサービス・レベル要件を満たすことを支援し、また、CICS Transaction Serverに導入された新たな機能の活用を可能にすることで、運用コストを改善します。またCICS Transaction Serverの新たなインターフェース、Eclipseベースで作られたCICS ExplorerにCICSツールのインターフェースも統合され、ホスト経験の浅い技術者にも、よりビジュアルで操作性のよいインターフェースからCICSの管理を行うことが可能となっています。お客様がCICSシステムの開発・運用・保守を効率的に行うために有効なCICSツール製品は、今後も機能を拡張していきます。

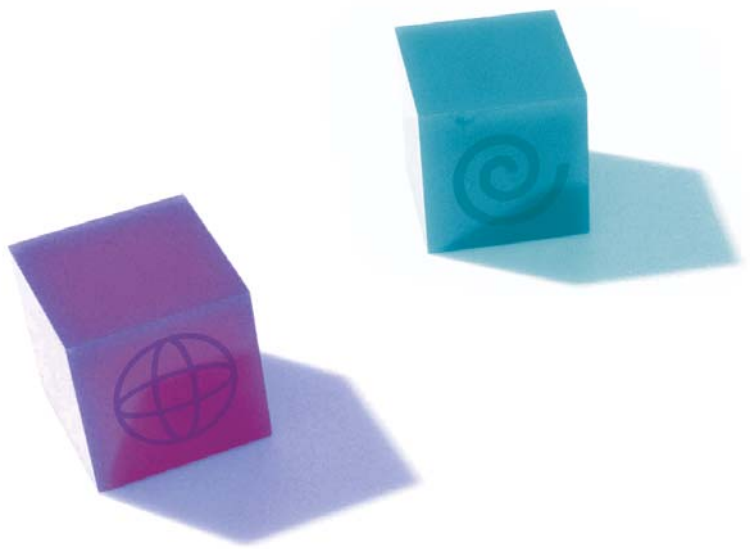
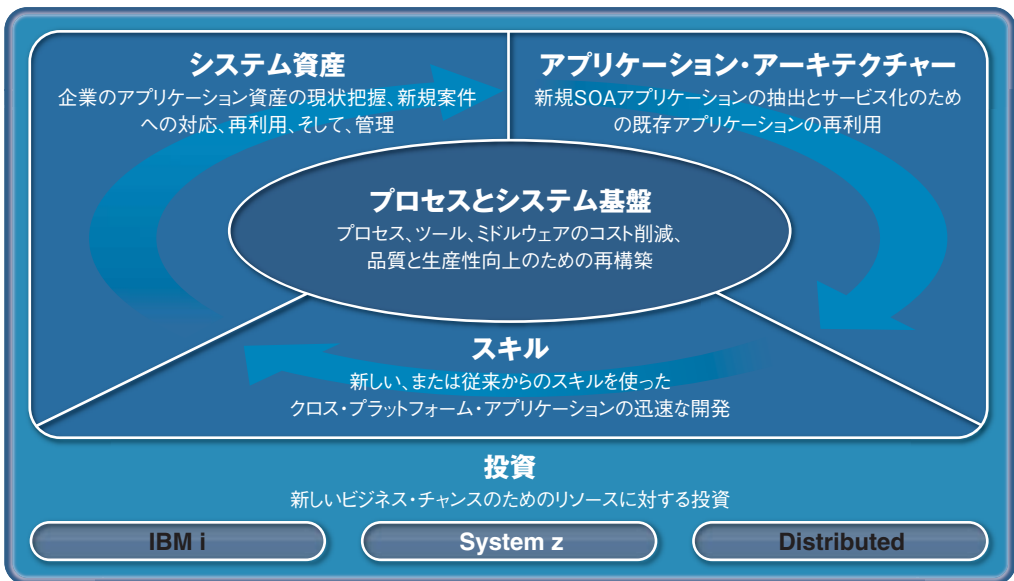
ファイル転送ソリューション

WebSphere MQメッセージングをベースに、監査性、可視性、信頼性を備えた管理ファイル転送ソリューションをWebSphere MQ File Transfer Editionにより提供します。これにより、従来のメッセージを処理するMQメカニズムの中に、ファイルの処理を統合でき、単一の信頼できるバックボーンを使用して運用を効率化します。

既存資産を連携・活用し、ビジネスへの即応性を高めるアプリケーション基盤

変化するビジネス要求に迅速に対応するために、既存のIMS、CICS、DB2資産の効率的な利用と、WebサービスやXMLあるいはWeb対応などオープンでスタンダードな技術を用いてそれらを連携・活用できることが求められています。IBMではこれらの要求に対応するために、常に最新のオープンな技術を提供するWebSphere Application Serverで既存資産に最も近いメインフレーム上でご提供し、信頼性・セキュリティ・スケーラビリティの高いアプリケーション基盤構築をサポートします。また、信頼性の高いESB(エンタープライズ・サービス・バス)環境をご提供するWebSphere Message Broker for z/OS、WebSphere ESB for z/OSや、既存資産も含めプロセス連携を行えるWebSphere Process Server for z/OSと組み合わせ、全体をメインフレーム上で稼働させることで、既存資産と親和性の高い連携基盤を構築し、メンテナンスへの投資の抑止を図り新規ビジネス要件に迅速に対応することが可能になります。

このほかにもJavaバッチのモダナイズを図るWebSphere XD for z/OSなど、IBMのメインフレームで稼働するWebSphereインフラストラクチャー製品により、その柔軟性と応答性で開発生産性を高め、ITとビジネスを一体化できる基盤を構築できます。





詳細情報

お問い合わせは、IBMビジネスパートナー、製品販売店、弊社営業担当員または、ダイヤルIBM(☎ 0120-04-1992)へ。受付時間:月～金9:00～18:00(祝日12/30～1/3を除く)フリーダイヤルをご利用いただけないお客様は下記の電話番号をご利用ください。

ダイヤルIBM 03-6220-8002(この場合通話料はお客様のご負担となります。)

System zソフトウェアについての詳細情報は下記のWebサイトをご覧ください。

ibm.com/jp/software/zseries

©Copyright IBM Japan, Ltd. 2009

日本アイ・ビー・エム株式会社
〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町19-21

Produced in Japan

Mar 2009

All Rights Reserved

- このカタログの情報は2009年3月現在のものです。
仕様は予告なく変更される場合があります
- 記載のデータはIBM社内の調査に基づくものであり、
全ての場合において同等の効果が得られることを意味するものではありません。効果はお客様の環境その他の要因によって異なります。
- 製品、サービスなどの詳細については、弊社もしくは
ビジネスパートナーの営業担当員にご相談ください。

IBM、IBMロゴ、ibm.com、AIX、CICS、Build Forge、ClearCase、ClearQuest、Cognos、DB2、InfoSphere、NetView、OMEGAMON、Optim、RACF、Rational、Tivoli、WebSphere、z/OS、z/VM、System zは、International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における商標。

MicrosoftおよびWindowsは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標。

JavaおよびすべてのJava関連の商標はSun Microsystems, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標。

Linuxは、Linus Torvaldsの米国およびその他の国における商標。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標。